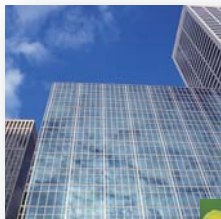


REPORT

平成 19 年 4 月 1 日から平成 19 年 9 月 30 日まで

第56期 中間報告書



コンドータック株式会社

証券コード 7438

経営者からのメッセージ

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに当社第56期中間期(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月



代表取締役社長
菅原 昭

代表取締役会長
近藤 純位

theme / テーマ

「未来への環境づくり」

当社は、様々な業界に向けて「資材の供給」と「インフラの充実」に積極的に取り組み、「未来への環境づくり」をテーマに豊かな社会づくりに貢献できる「提案型企業」を目指しております。

コンドーテックの特色は
何でしょうか？

当社の特色としましては、
製造部門を持つ商社

九州、関東、滋賀、札幌の4工場の製造部門を持つことにより、お客様のニーズに沿って開発と製造がスピーディーに対応出来ること、これがコンドーテックの最大の強みです。

地域密着型販売体制

全国42カ所の営業拠点が在庫を保有し、お客様へクイックデリバリー（即納）体制でサポートしています。

高シェアの製・商品

建設関連資材のターンバックル、足場吊りチェーン、シャックル、ワイヤロープなど高いシェアの製品、商品を多く持つ業界のプライスリーダー的存在であることです。

以上のようなことが挙げられます。

今後の成長戦略について
お聞かせください。

当社は、「自社製品・輸入商材・新商材の拡販」及び「新規販売先の開拓」という4つの重点施策を徹底し、既存市場でのシェアアップを図るとともに次の経営戦略を進めております。

新業種への事業拡大

環境、街路・緑化、産業廃棄物などの新業種に新たな事業の柱を確立するため、事業の拡大を図っております。

また、「ホームセンター事業部」は従来の商流とは別に販売の拡大を図り、順調に業績を上げております。

■コンドートックの企業理念

私達は未来を築く人材を育て、
創意工夫と開拓の精神をもって
企業活動を行うことにより、
豊かな社会づくりに貢献します。

新規出店による販売力強化

今後の成長を確保するためには、在庫を持ち、即納体制を整えた地域密着型の「店舗展開」が必要不可欠と考え、継続して每期 2~3 カ店の出店を計画しております。

物流コストの削減

中国の現地企業と物流業務の委託契約を結び、物流倉庫を設置いたしました。

現地生産の商品を現地で仕分けし、日本全国の当社営業拠店へ直送することにより、「輸入商材の比率アップ」と「日本国内での物流コスト削減」に貢献しております。

人材の育成

厳しい経営環境の中、業界の勝ち組として勝ち進むためには「人材の育成」が不可欠であると考えております。

そのため、新入社員からの一貫教育としての若手社員の育成研修や新任管理者研修、営業・製造・業務・事務部門の専門能力向上研修、ジョブローテーション、自己能力開発のための通信教育などにより、より高い成果を生み出し、次代を担うことができる人材の育成に努めております。

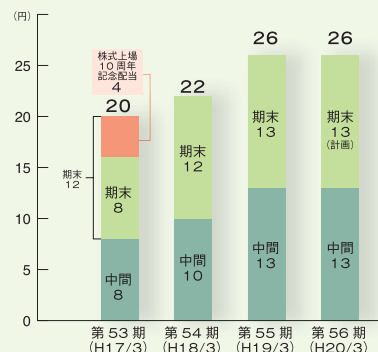
IDEAL × ACTION = RESULTS

株主の皆様への利益還元策について 教えてください

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な施策として位置づけ、「収益の向上」と「企業価値の増大」を図りながら、配当することを基本方針としております。

この方針のもと、平成 20 年 3 月期の中間配当は 1 株につき 13 円とさせていただきます。

1 株当たり配当金



決算ハイライト

平成19年9月中間期

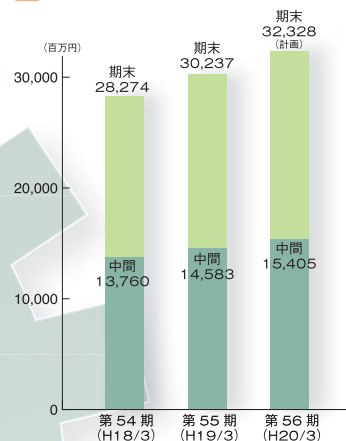
売上高
15,405百万円
 (前年同期比+5.6%)

営業利益
841百万円
 (前年同期比△9.1%)

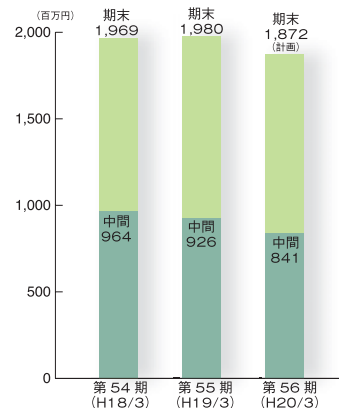
経常利益
843百万円
 (前年同期比△8.0%)

中間純利益
483百万円
 (前年同期比△9.2%)

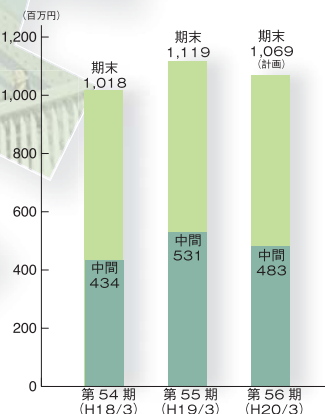
売上高



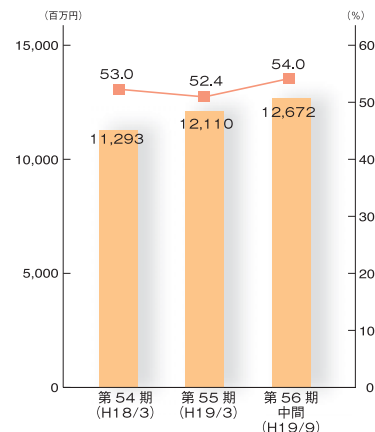
営業利益



当期純利益



純資産・自己資本比率



中間期の業績

売上高

当中間期の日本経済は、好調な企業収益と需要の増加を背景に設備投資は引き続き増加し、雇用環境の改善や個人消費も持ち直し、景気は緩やかな拡大が続いており安定して推移いたしました。

当社の関連業界では、耐震偽装の再発を防ぐため、建築確認審査を厳しくした改正建築基準法が平成 19 年 6 月に施行され、建築確認申請の手控えや審査の長期化などの混乱が広がり、建築物の着工は 7 月以降急減いたしました。

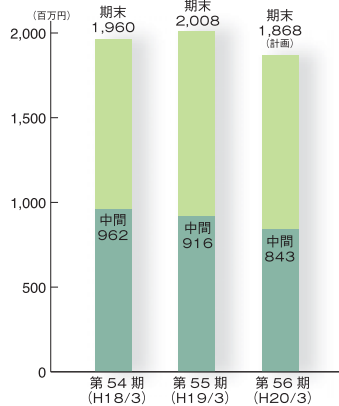
このような状況のもとで、当社は販売力及び生産力の強化を図り、売上増に努めました結果、当中間期の売上高は製品が 3,208 百万円（前年同期比+2.5%）、商品が 12,196 百万円（同+6.5%）となり、売上高合計は 15,405 百万円（同+5.6%）となりました。

利益

鋼材をはじめとする原材料価格の上昇、廉価な輸入品の台頭などで価格競争が一層激しくなり、また、平成 19 年 5 月より稼働した滋賀工場の生産は順調に増加しておりますが、初期の設備投資に伴う減価償却費、人件費、その他諸費用の増加があり、売上総利益率は前年同期の 22.9%から 1.0 ポイント低下し 21.9%となりました。

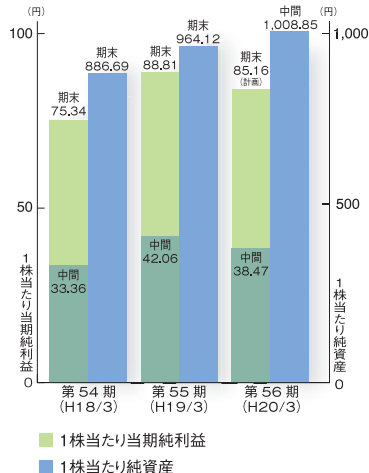
販売費及び一般管理費におきましては経費の削減に努めましたが、2,538 百万円（前年同期比+5.2%）となりました結果、営業利益 841 百万円（同△9.1%）、経常利益 843 百万円（同△8.0%）となり、中間純利益は 483 百万円（同△9.2%）となりました。

経常利益



1株当たり当期純利益

1株当たり純資産



通期の見通し

通期業績予想

売上高 32,328 百万円（前期比+6.9%）
営業利益 1,872 百万円（前期比△5.5%）
経常利益 1,868 百万円（前期比△7.0%）
当期純利益 1,069 百万円（前期比△4.4%）

サブプライムローンに端を発する米国経済への影響、高値圏にある原油価格の動向など懸念される材料があるものの、企業収益や設備投資は引き続き堅調さを保ち、雇用環境の改善や個人消費の増加などにより、緩やかな景気回復の傾向は続いていくものと予想されます。

当社の関連業界では、鋼材をはじめとする原材料価格の上昇、改正建築基準法施行以降の審査の長期化などの混乱が尾を引き、回復が遅れる可能性があるなど、予断を許さない状況が続くと思われれます。

このような状況のもとで、当社は受注競争、価格競争に耐えうるコスト競争力を高め、四つの重点施策の徹底と新業種やホームセンターへの積極的な販売活動や販売拡充を図るための継続的な販売拠点の出店を考えております。また、滋賀県下に建設した滋賀工場を平成 19 年 5 月に本格稼働させたことにより、九州、関東、滋賀、札幌の国内 4 工場体制が整い、製品の供給量の強化、需要増への対応及び生産効率の向上を推し進めてまいります。

TOPICS1

滋賀工場が完成

平成19年5月に滋賀県下に滋賀工場が完成いたしました。

九州、関東、札幌に続く第4の生産拠点として、近畿・中部地区をカバーし、生産を開始しております。

この滋賀工場では、建築物の耐震用筋交いの「ターンバックルブレース」や建築物と地中に施工した基礎コンクリートを固定するための「アンカーボルト」を生産しております。

- 所在地 滋賀県蒲生郡日野町大字大谷341番地50
- 敷地面積 34,127㎡
- 延床面積 4,881㎡



滋賀工場

この滋賀工場では、生産開始後間もないですが、より良い製品を提供するため、「ISO9001」の認証を取得しました。

TOPICS2

3営業拠点が稼働

平成19年4月に北海道下に新規事業北海道営業所、同じく5月に鹿児島県下に鹿児島営業所及び新規事業南九州営業所を開業いたしました。

当社では、今後も「地域密着型販売体制」の店舗展開を行い、業績拡大を図っていきます。



新規事業北海道営業所

- 所在地 北海道石狩市新港西一丁目719番地12



鹿児島営業所・新規事業南九州営業所

- 所在地 鹿児島県霧島市隼人町西光寺2427番地30

コンドートックはいろいろな場面で活躍しています!!

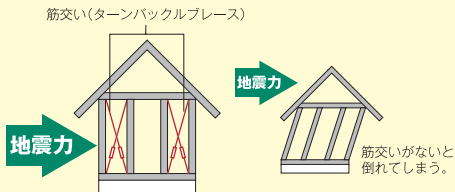
当社では、様々な場面で使用されますおよそ 40,000 点の製・商品を取り扱っております。また、日々その数は増え続けております。その中の一部のアイテムをピックアップし、ご紹介いたします。

ターンバックルブレース

(当社製品名「コンブレース」)

地震が起きると、建物が揺れ、倒壊する恐れがありますが、筋交いの「ターンバックルブレース」を取り付けることで、建物が横から押される力に突っ張って変形を防ぎ、建物の倒壊を回避する役割があります。

筋交い(ターンバックルブレース)の役目



この「ターンバックルブレース」はショッピングセンターや工場、倉庫などの鉄骨建築や鉄骨プレハブ住宅などの耐震用筋交いとして使用されています。また、身近な場所では駅のホームの屋根で使用されています。



駅のホームの屋根での使用風景



ターンバックルブレース

コンテナバッグ

コンテナバッグは、台風や集中豪雨での河川の氾濫や地震での土砂崩れなどの災害防止、復旧作業で使用されている大型土のう袋です。

新商品の「耐候性コンテナバッグ KR-2BB」は、野外での使用を考慮し、紫外線劣化を大幅に抑制したことにより、過酷な条件の使用にも耐えうる強度を実現しました。



河川での使用風景



耐候性コンテナバッグ

KR-2BB



財務諸表

■ 中間貸借対照表

科目	当中間期	前中間期	前 期
	(平成 19 年 9 月 30 日現在)	(平成 18 年 9 月 30 日現在)	(平成 19 年 3 月 31 日現在)
■ 資産の部			
流動資産	13,609,405	12,951,336	14,113,655
① 現金及び預金	1,111,129	1,389,961	1,775,807
受取手形	5,383,375	5,021,087	5,680,140
売掛金	4,226,080	4,133,700	3,935,577
たな卸資産	2,601,945	2,116,099	2,426,805
繰延税金資産	226,160	214,635	242,862
その他の流動資産	102,996	95,997	79,385
貸倒引当金	△ 42,281	△ 20,145	△ 26,924
固定資産	9,840,594	8,526,273	9,009,154
有形固定資産	7,976,145	7,224,670	7,554,951
② 建物	2,101,409	1,841,644	1,798,367
③ 機械及び装置	763,655	455,864	527,854
土地	4,804,047	4,691,523	4,804,047
建設仮勘定	37,120	—	190,804
その他の有形固定資産	269,913	235,637	233,878
無形固定資産	35,965	36,085	34,395
ソフトウェア	9,682	14,842	12,056
その他の無形固定資産	26,282	21,242	22,339
投資その他の資産	1,828,483	1,265,517	1,419,807
④ 投資有価証券	1,664,711	1,056,806	1,255,974
繰延税金資産	—	38,412	—
その他の投資等	241,716	215,106	222,688
貸倒引当金	△ 77,944	△ 44,808	△ 58,855
資産合計	23,449,999	21,477,610	23,122,809

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前 期
	(平成 19 年 9 月 30 日現在)	(平成 18 年 9 月 30 日現在)	(平成 19 年 3 月 31 日現在)
■ 負債の部			
流動負債	9,028,490	8,369,690	9,423,370
支払手形	6,165,305	5,535,995	6,306,597
買掛金	1,499,742	1,595,187	1,636,270
未払法人税等	353,775	397,479	457,948
賞与引当金	379,532	376,600	408,400
その他の流動負債	630,134	464,428	614,153
固定負債	1,748,605	1,512,282	1,588,439
長期未払金	290,658	290,658	290,658
⑤ 繰延税金負債	273,824	—	106,098
再評価に係る繰延税金負債	237,549	237,549	237,549
退職給付引当金	946,573	984,074	954,133
負債合計	10,777,096	9,881,973	11,011,810
■ 純資産の部			
株主資本	13,282,645	12,560,434	12,962,787
資本金	2,328,100	2,328,100	2,328,100
資本剰余金	2,096,170	2,096,170	2,096,170
利益剰余金	9,708,325	8,964,393	9,388,390
利益準備金	216,694	216,694	216,694
⑥ その他の利益剰余金	9,491,630	8,747,699	9,171,695
自己株式	△ 849,950	△ 828,229	△ 849,872
評価・換算差額等	△ 609,741	△ 964,797	△ 851,788
⑦ その他有価証券評価差額金	961,302	599,599	718,103
繰延ヘッジ損益	△ 1,869	4,778	△ 717
土地再評価差額金	△ 1,569,175	△ 1,569,175	△ 1,569,175
純資産合計	12,672,903	11,595,637	12,110,999
負債・純資産合計	23,449,999	21,477,610	23,122,809

Point ① 現金及び預金

滋賀工場及び鹿児島営業所・新規事業南九州営業所の新設、九州工場の生産設備増強などの設備投資に伴う支出により減少いたしました。

Point ② 建物

滋賀工場及び鹿児島営業所・新規事業南九州営業所の建物新築により増加いたしました。

Point ③ 機械及び装置

滋賀工場の生産設備の新設及び九州工場の生産設備増強により増加いたしました。

Point ④ 投資有価証券

投資有価証券の時価評価替えにより増加いたしました。

Point ⑤ 繰延税金負債

投資有価証券の時価評価替えなどにより増加いたしました。

Point ⑥ その他の利益剰余金

利益の増加に伴い、繰越利益剰余金が増加いたしました。

Point ⑦ その他有価証券評価差額金

投資有価証券の時価評価替えにより増加いたしました。

■ 中間損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)	(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)	(平成18年4月1日から平成18年3月31日まで)
⑧ 売上高	15,405,322	14,583,907	30,237,152
売上原価	12,025,074	11,243,452	23,277,045
⑨ 売上総利益	3,380,247	3,340,454	6,960,106
販売費及び一般管理費	2,538,754	2,414,410	4,979,947
営業利益	841,493	926,044	1,980,159
営業外収益	25,540	18,082	77,616
受取利息配当金	1,085	829	3,516
仕入割引	12,621	10,024	20,275
補助金収入	—	—	34,806
その他の営業外収益	11,832	7,228	19,018
営業外費用	23,112	27,265	49,267
売上割引	19,450	16,221	36,392
その他の営業外費用	3,662	11,044	12,874
経常利益	843,921	916,861	2,008,509
特別利益	2	6,488	390
固定資産売却益	2	20	390
貸倒引当金戻入益	—	6,468	—
特別損失	2,411	2,399	7,572
固定資産除売却損	2,411	2,399	3,517
出資金評価損	—	—	4,054
税引前中間(当期)純利益	841,512	920,950	2,001,326
法人税・住民税及び事業税	338,600	375,900	829,303
法人税等調整額	19,674	13,134	52,496
中間(当期)純利益	483,238	531,915	1,119,526

■ 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)	(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)	(平成18年4月1日から平成18年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,380	△203,434	693,646
投資活動によるキャッシュ・フロー	△570,487	△1,001,936	△1,328,038
財務活動によるキャッシュ・フロー	△163,489	△272,630	△457,764
現金及び現金同等物に係る換算差額	△81	—	—
現金及び現金同等物の減少額	△664,677	△1,478,002	△1,092,156
現金及び現金同等物の期首残高	1,775,807	2,867,963	2,867,963
現金及び現金同等物の中間(期末)残高	1,111,129	1,389,961	1,775,807

Point ⑧ 売上高

販売力及び生産能力の強化を図り、前年同期比+5.6%となりました。

Point ⑨ 売上総利益

原材料価格の上昇や滋賀工場の初期の設備投資に伴う減価償却費、人件費等の費用の増加、廉価な輸入品の台頭などで価格競争が一層激しくなったことにより、売上総利益率は前年同期の22.9%から1.0ポイント低下し21.9%となりました。

■ 中間株主資本等変動計算書

当中間期

(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：千円)

項目	株主資本							評価・換算差額等					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金				自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
			利益準備金	その他利益剰余金									
平成19年3月31日残高	2,328,100	2,096,170	216,694	205,496	7,610,000	1,356,198	△849,872	12,962,787	718,103	△717	△1,569,175	△851,788	12,110,999
中間期中の変動額													
剰余金の配当						△163,302		△163,302					△163,302
圧縮記帳積立金の取崩				△1,283		1,283							
中間純利益						483,238		483,238					483,238
自己株式の取得							△78	△78					△78
株主資本以外の項目の中間期中の変動額(純額)									243,198	△1,151	—	242,047	242,047
中間期中の変動額合計				△1,283		321,219	△78	319,857	243,198	△1,151	—	242,047	561,904
平成19年9月30日残高	2,328,100	2,096,170	216,694	204,213	7,610,000	1,677,417	△849,950	13,282,645	961,302	△1,869	△1,569,175	△609,741	12,672,903

会社概要

平成19年9月30日現在

- 社 名 コンドーテック株式会社
 KONDOTEC INC.
- 本 社 大阪市西区境川二丁目2番90号
- 設 立 昭和28年1月14日
- 資 本 金 23億2,810万円
- 従 業 員 567名

| 主要な事業内容 |

当社は、土木用・建設用・荷役用・船舶用金物、鋼材、溶接資材及び鋅螺の製造販売並びに輸出入を主な事業としております。

■ 役 員

- | | |
|------------|---------|
| 代表取締役会長 | 近 藤 純 位 |
| 代表取締役社長 | 菅 原 昭 |
| 常務取締役 | 平 田 茂 |
| 取締役 | 堀 江 重 男 |
| 取締役 | 近 藤 勝 彦 |
| 取締役 | 山 田 清 人 |
| 取締役 | 矢羽田 秀 朋 |
| 取締役 | 安 藤 莞 爾 |
| 常勤監査役 | 滝 水 哲 夫 |
| 監査役（社外監査役） | 河 瀬 龍 示 |
| 監査役（社外監査役） | 北 山 諒 一 |

主な製品・商品

The main product and commodity

建設資材

仮設足場、当板・本体、丸セパレーター、Uクリップ、アンカーインサート、建設板物、現場用品、河川・港湾土木資材、コンテナバッグ

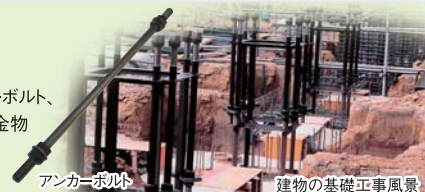


コンテナバッグ

河川での使用風景

鋅螺

ハイテンションボルト、ボルトナット類、アンカーボルト、Zマーク金物、Cマーク金物



アンカーボルト

建物の基礎工事風景

金物類

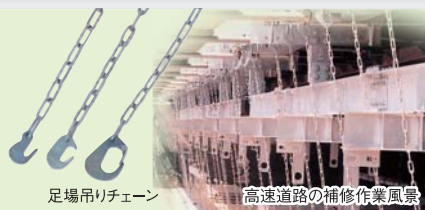
ターンバックル、ブレース、シャックル、ワイヤクリップ、ロープ附属品、ウインチ・ブロック類

ターンバックル
ブレース

仮設住宅での使用風景

チェーン

足場吊りチェーン、ステンレスチェーン、強力チェーン、各種リンクチェーン、チェーンスリング



足場吊りチェーン

高速道路の補修作業風景

ワイヤロープ

JISロープ、加工ロープ、繊維ロープ、ベルトスリング、モック、鋼より線

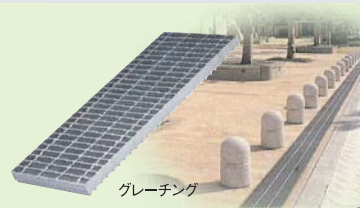


ロック止めワイヤロープ

テトラポッドを吊り上げる風景

その他

機械工具、施工用品、環境関連資材、街路・緑化資材



グレーチング

株式情報

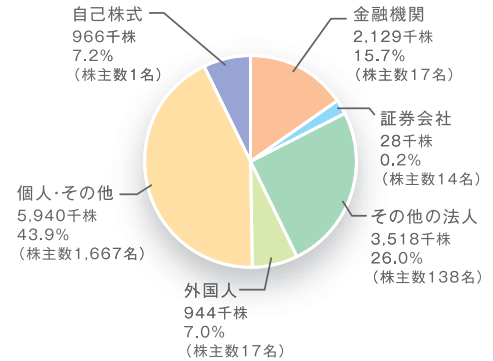
平成19年9月30日現在

- 発行可能株式総数 30,000,000 株
- 発行済株式総数 13,528,500 株
- 株主数 1,854 名
- 単元株式数 100 株
- 大株主

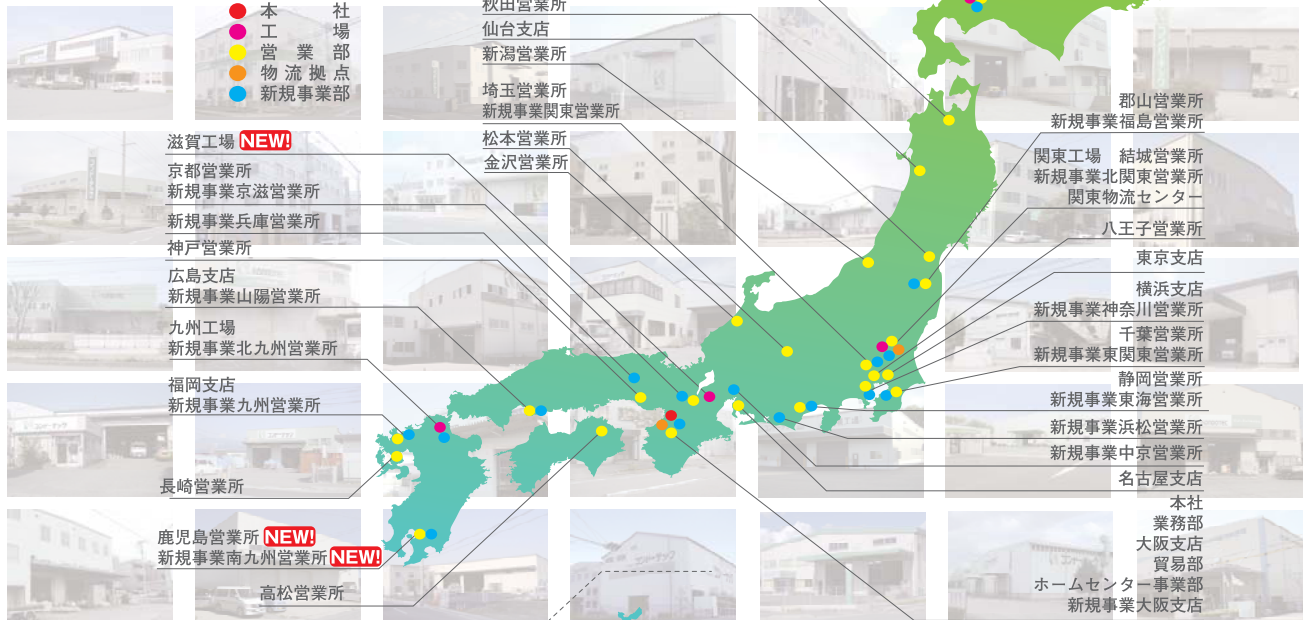
株主名	持株数	出資比率
(有)藤和興産	1,507千株	12.0%
近藤 純位	839千株	6.7%
近藤 勝彦	661千株	5.3%
大阪中小企業投資育成(株)	643千株	5.1%
コンドーテック社員持株会	526千株	4.2%
近藤 延滋	385千株	3.1%
(株)三菱東京UFJ銀行	376千株	3.0%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	335千株	2.7%
近藤 雅英	332千株	2.6%
(株)近畿大阪銀行	314千株	2.5%

(注)自己株式966千株は含めておりません。

所有者別株式分布状況



営業所及び工場



■コンドータックホームページのご案内

業績ハイライト、ニュースリリース、決算短信、有価証券報告書などの開示情報のほか、取扱製品・商品など様々なコンテンツを用意しております。ぜひご覧ください。



インターネットホームページ

<http://www.kondotec.co.jp>

コンドータック

検索

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎0120・094・777
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 ※株式関係のお手続用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。 ☎0120・244・479（本店証券代行部）☎0120・684・479（大阪証券代行部） インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第2部 大阪証券取引所市場第2部



2007年12月発行

コンドータック株式会社

〒550-0024 大阪市西区境川二丁目2番90号
TEL 06-6582-8441 somubu@kondotec.co.jp



この印刷物は、環境に配慮し、大豆インキを使用しております。

当報告書には財政状態および経営成績に関する将来予測の記述が含まれています。
この前提および将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれています。